人とふれあい、見聞広げ

高校の教育旅行は体験が主流になりつつある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものにふれ、人と接することで視野が広がる。時代の変化とともに若者の意識も変わる中、教育旅行のあり方に頭を悩ます高校も少なくない。ここでは充実した教育旅行を実施する４校の取り組みをレポートする。

東海大学付属札幌高等学校

沖縄4泊5日　15年10月実施

工藤優樹研究主任

東海大学付属札幌高等学校（小坂秀王校長）は、東海大学の付属校として1964年、北海道札幌市に設立。今年、創立52周年を迎えた歴史ある学校だ。昨年度まで東海大学付属第四高等学校の名称だったが、今年度から校舎を東海大学札幌キャンパスに移転。同時に校名を変更した。

教育の特色は、「きめ細かな学習指導」「文武両道を掲げた人間教育」。国公立大学や難関私立大学進学を目指す「特別進学コース」と、勉強と部活動を両立させ、大学進学を目指す「総合進学コース」の2コースを設け、生徒の能力と個性を伸ばす教育を行っている。

新しい校舎は「メディアセンター」「デジタルアトリエ」「音楽スタジオ」「コミュニティラウンジ」などを備え、英語やグローバル教育、デジタルデザイン、サイエンスなどの分野で、大学とも連携した取り組みを進める。

「心と体を鍛え、社会で活躍できる基礎力を培う」という部活動も盛ん。選抜準優勝の野球部、インターハイ全国ベスト8の男子バレーボール部、ウインターカップ全国ベスト8の男子バスケットボール部ほか、多くのクラブが全国大会や全道大会に出場し、好成績を残している。

平和、異文化テーマに　マリンスポーツ体験も

同校は毎年、2年次の生徒を対象に「研修旅行」を実施。2015年度は10月27日から31日まで、沖縄県へ4泊5日の旅行を行った。部活動で参加できなかった生徒を除く約200人が参加した。

コース内容は、初日に首里城公園の見学、2日目に沖縄県平和祈念資料館とひめゆり平和祈念資料館の見学、3日目に海洋博公園の自主研修、4日目に伊江島でのマリンスポーツ体験など。宿泊は那覇市内と恩納村近郊のホテルを利用した。

「ただ楽しむだけの旅行では意味がない。旅行に明確なテーマを持たせるために、どこがいいか行く先を考えたところ、沖縄での研修旅行となった」と同校の工藤優樹研究主任。「平和」「異文化」という二つのテーマを学べること、さらに「基地と政治の問題など、今の沖縄には考えさせられることが多い」ことも同地を旅行先に選んだ理由となった。

生徒たちは血痕が生々しく残る旧海軍司令部壕（ごう）を見学したり、ひめゆり学徒隊の生存者による戦争当時の話を聞いたりして、平和の尊さを学んだ。首里城や琉球村の見学、沖縄の楽器「三線（さんしん）」を弾く体験では、沖縄の独特の文化に触れることができた。マリンスポーツ体験では「沖縄の方々には寒く感じた海も、北海道から来た私たちにはとても温かく感じた。普段はテレビでしか見ることのない魚や、見たことのない生物がたくさんいて、透き通った海は本当にきれいだった」と感動の声を挙げている。

工藤研究主任も「生徒の満足度が非常に高く、成果があった研修旅行だった。細かい反省点はあるものの、平和と異文化という二つのテーマについて、事前、事後学習も含めてしっかり学ぶことができた」と今回の旅行を評価する。

同校は以前、関西、九州などで研修旅行を行っていたが、約10年前に国際的な視野を育む観点から、ハワイ、米国本土、カナダ、イギリス、フランス、タイと、6コースに分かれての海外研修旅行を実施。ただ、生徒の家庭の事情などを考慮してコースに国内を復活させ、近年は関西、沖縄、ハワイの3コースからの選択制にしていた。

3年前に現在の校長が赴任してからは、事前、事後学習をスムーズに行うことなどを狙いにコースを一つに集約。工藤研究主任は「生徒も先生方も一つにまとまり、旅行を盛り上げようという機運が生まれた。学年の中で結束力が高まったという意味でも、コースを一つにしてよかったのではないか」と述べている。

2016年度の研修旅行も沖縄で行う。ただ、2017年度は旅行先を、東京を中心とした関東に変更する予定だ。沖縄での滞在費や移動費が高騰してきたことが理由の一つ。活発な部活動でかかる生徒の保護者の金銭的負担などを考慮した。さまざまな旅行先を考えた上で、「生徒が事前学習、事後学習を1年かけて行うだけの価値を見いだせる」旅行先として関東を選んだ。

テーマを「将来、希望の進路に進むために必要な力を養う」という「キャリア教育」に設定。企業訪問や工場見学、また東海大学湘南キャンパスでの半日学生体験を盛り込む予定だ。

首里城で

宿泊先のホテルで

伊江島でさまざまな表情をみせる生徒たち

美ら海水族館の近くで

伊江島で

山形県立天童高等学校

関西地方4泊5日　15年11月実施

伊藤秀明教諭

山形県天童市の中心部にある山形県立天童高等学校（鈴木慈校長、生徒数477人）は、1921年（大正9年）に設立、教育目標は「進取・自立・融和」、今年で96年を迎える。総合学科の中に文理総合、情報ビジネス、会計ビジネス、保健福祉の四つの系列を設け「個性を伸ばし、創造力を豊かにして、共に生きる社会に貢献できる人間の育成」を目指し、修学旅行は教育目標に反映させることを目的に実施している。

2015年度は、関西地方の宮島、京都、奈良を旅行先に11月18～22日の4泊5日で実施（別項・旅行行程）。対象年次の2年生全員155人が参加した。

総合学科が設置された11年を契機に、これまで韓国・佛谷の姉妹校「プルゴック高校」を訪問し、日韓両国の歴史的な関わりのなか、異文化体験と国際感覚を身に付けグローバルな国際感覚を養うことを目的に修学旅行に取り組んできた。しかし、朝鮮半島の政治情勢の不安定が続いたことや、SARS（サーズ）、新型インフルエンザの感染症が流行、修学旅行のめどが立たず、翌年の13年度から歴史と文化的遺産や建造物が多く残る関西地方に行き先を変更し、国内旅行に切り替えた。

候補地は沖縄、長崎、奈良、京都が挙がったが、地理的な面と日程を考慮し、京都・奈良に決定した。また、11年、東日本大震災を体験したことから、阪神大震災で被災した神戸を視察するコースを実施する時や、年度によって大阪や広島のコースが入るときもある。

13年度から関西方面に　文化財保護の精神育む

担当する伊藤秀明教諭は「日本の歴史・文化の中心地に直接触れ、理解が深まり文化財保護の精神が生まれ、自主性が芽生えてきた意義は大きい」と語る。

修学旅行を前に事前学習を通して旅行先の情報の収集の効果からか、歴史に興味を示し情報を共有する形で実施。広島では日本三景の一つ「安芸の宮島」にある厳島神社や広島平和記念公園などの世界文化遺産を見学。奈良でも世界文化遺産である「法隆寺地域の仏教建造物」の法隆寺をはじめ薬師寺、東大寺を見学した。京都では4人から7人が一班となり、生徒が決めたプランを旅程に組み込み、班ごとに自分たちの決めた手作りの「京都散策の旅」という愛着が、楽しみを倍増させる結果となった。

周到な準備により世界に一つだけの修学旅行となっただけでなく、どのプランに参加するかを決める際に人数制限に合わせてグループ間で調整しあう姿があり、「生徒のコミュニケーション力の伸長につながったのでは」と伊藤教諭は評価する。

一方、交通機関に生活様式や言葉の違い、そして交通機関への不慣れから迷子になった生徒が見られたが、「他とは違う」「自分たちだけ」の修学旅行により、「参加意識」とそれに伴う「成長と達成感」を得たという成果により、修学旅行の目的の一つが達成された。

次年度以降も関西地方に行く予定だ。旅行会社や各方面からプラン作りのアドバイスをもらいながら、生徒たちの心に残る修学旅行の実現を目指していく。

■旅行日程

1日目は、早朝に天童駅前に集合、新幹線で東京駅を経由し宮島口駅に夕方着。宮島口より船で宮島桟橋を遊覧し宮島の旅館に宿泊。

2日目は、早朝に厳島神社拝観。広島平和公園（碑巡り・平和祈念資料館・講話）。広島駅から新幹線で新神戸駅着、神戸市内を班別に観光や見学、尼崎市内のホテルに宿泊。

3日目は、貸し切りバスで奈良に移動。薬師寺（講話）、斑鳩の里・法隆寺を見学。奈良公園の東大寺を散策、貸し切りバスで京都へ移動、旅館に宿泊。

4日目は、予め提出したフリー体験プランに沿って、終日班別に京都市内を散策。京都の旅館に宿泊。

5日目は、朝、旅館を出発し東寺を見学。京都駅から新幹線を乗り継ぎ天童駅着。

広島平和記念公園での祈り

清水寺で

銀閣寺で

奈良の東大寺で

原爆ドーム前

被爆者の講話に耳を傾ける

映画村の体験学習
本物と自然と昔にこだわる

お手軽な時代劇の扮装体験
時代劇の扮装をして映画村の江戸の町を歩いてみませんか。メイクなし、かつらも省いた着物の着付けだけのお手軽プランなら、短時間で「変身」して時代劇の世界をお楽しみいただけます。
【扮装種類】町娘・振袖若衆・武家内儀・千姫・若侍・遠山奉行・町人・浪人・坂本龍馬・新選組隊士・忍者

清水焼絵付け体験
【染付】素焼の生地に絵付けをしていただきます。染付の色はグレーと茶色の2種類あります。
【京焼】白色系に焼き上げた器やグラスに3～5色のカラーを使って絵付けをしていただきます。

京扇子・京うちわ手描き体験
舞踊や茶道にも欠かせない扇子やうちわは京都の伝統産業のひとつです。専門家の指導のもとにオリジナルの絵柄を描いて楽しんでください。

※体験学習は全て有料・要予約となります。

清水焼絵付け体験【染付】
お手軽な時代劇の扮装体験
清水焼絵付け体験【京焼】
京扇子・京うちわ手描き体験

体験学習のパンフレット・DVDのご請求、お問い合わせ、お申し込みはこちらまで!
TOEI KYOTO STUDIO PARK
東映太秦映画村
http://www.toei-eigamura.com
〒616-8586　京都市右京区太秦東蜂岡町10番地
ナビダイヤル 0570-064349　お問い合わせ 075-864-7716
営業時間 /9:00～17:00（3～7、9月の平日と10、11月毎日）
9:00～18:00（3～7、9月の土・日・祝 と8月毎日）
9:30～16:30（12～2月の平日）
9:30～17:00（12～2月の土・日・祝）
休村日 /2017年1月16日～20日

年間3100校以上にご来県いただいている
信州・長野県への学習旅行は

(一社)信州・長野県観光協会は、長野県庁内に事務局を置き、国内外を問わず、長野県への学習旅行のご案内をさせていただいております。下記まで資料請求等お問合せをお待ちしております。

お問合せ・資料請求先
(一社)信州・長野県観光協会
TEL:026-238-9670　FAX:026-232-3233
E-mail:gakushu@nagano-tabi.net
http://www.naganoken-gakushuryoko.net
〒380-8570（住所不要です）
長野県庁 1階

先生のための手引き書
信州から本物体験のメッセージ
自然体験学習
特集
自然から学ぶ総合学習
新しい体験学習
エリア別体験集

上記冊子「先生のための手引き書」（ワークシートつき、全32頁）を無料にて差し上げています。